

校訓《自主 友愛 健康》

天水中学校便り 9号

平成31年3月8日

校長 中村浩二

『最終ゴールは生徒の笑顔』

約20年前、学級担任をしていたとき、学級の雰囲気は何となく暗いことに気づいたことがあった。特に何かあったわけでもないのに、なぜか学級がどんよりとしているのである。生徒の動きもどんよりしていて、注意することも多くなっていた。なぜこんなにどんよりとしているのだろう。スッキリしない日が続いた。でも、理由がわからない。

ある晩、気分転換のために、当時はまっていた温泉センターへ行った。温泉につかった後、洗い場の椅子に座った時に、その理由がはっきりした。目の前の鏡に映っていたのは、自分のとても不機嫌な顔だったのだ。そういえば……。当時いろいろなトラブルがあり、睡眠不足も手伝って、表情は最悪だった。すぐに、シャワーのお湯を顔にかけ、両手で顔全体のマッサージをして、鏡に向かって笑ってみた。「これだ！」

翌日の朝の会から、笑顔を出すように心がけた。学級、そして生徒の雰囲気が、みるみる明るくなり、活気が出てきた。生徒がどんよりしている原因は、自分の表情だったのである。それ以来、「生徒は自分の鏡」だと思えるようになり、知らないうちに笑顔が多くなってきた。生徒から学んだというよりは、生徒に教えてもらった気がする。

現在、3年生は初めての人生の岐路に立っている。生徒たちの進路の状況もそれぞれである。進路決定した生徒が、進路決定の報告をするために校長室に来てくれた。全員が、最高の笑顔を見せてくれた。ということは、私の笑顔も最高だったに違いない。

3月13日は、公立後期試験の合格発表の日である。受験した生徒たちの進路決定の報告を、最高の笑顔で聞きたいと思う。

